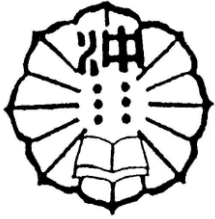


令和8年度



学校要覧



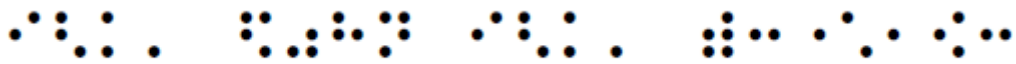
校訓「清く明るく よく学び 光り輝く」



「福治の庭」

初代校長 高橋福治先生の胸像を中心に、創立100周年記念事業として福治先生の説明板と校訓石碑を設置しました

沖縄県立沖縄盲学校



〒901-1111 南風原町字兼城473番地

TEL : 098-889-5375

FAX : 098-888-2547

Mail : xx350010@pref.okinawa.lg.jp

HP: <http://www.okimo-sh.open.ed.jp>



校章



校旗

校訓

「清く明るく よく学び 光り輝く」

幼児児童生徒一人一人が鏡の如く清く明るい気持ちでよく学び(点字や墨字を)、光りを世の中に輝かせてほしいと願いをこめて定められた。

沖縄盲学校 校歌

作詞・作曲 中村 文

あらしはぎぬ あかつきの くもかがやける こうげんに
へいわのかねを きくときぞ われらはつどう てをとりてめざ
す ひかりを もとめつつ ああ
う たわなん わ が ま な び や

1 嵐は過ぎぬ暁の
雲輝ける高原に
平和の鐘を聞く時ぞ
我等は集う手をとりて
めざす光を求めつつ
ああ歌わなんわが学舎

2 春風さそう指先に
読むや点字の人の道
理想の光燃ゆる時
聞くや世に立つ人の意地
まどかな月を身に浴びて
ああ育ちゆくわが学舎

3 たどる闇路のけわしとも
和む大空この庭に
結ぶ心の置かなる
文化の潮に竿さして
あしたの生命讃えつつ
ああ進まんわが学舎

目 次

◇校章・校訓・校歌	
◇目 次	----- 1
◇歴代校長一覧	----- 2
◇歴代PTA会長	----- 3
◇校舎配置図・教室配置図	----- 4
I 学校沿革史	----- 6
II 学校経営計画・学校グランドデザイン	----- 9
III 教育課程	
1. 各学部の年間授業日数配当表及び教育課程表・時数配当表	
1 幼稚園部	----- 16
2 小学部	----- 17
3 中学部	----- 20
4 高等部	----- 23
2. 日課表	----- 28
3. 使用教科書一覧	----- 29
IV 学校運営	
1 学級編制表及び学級担任・専科等配置	----- 31
2 視力別幼児児童生徒数	----- 32
3 眼科疾患状況（総保有眼疾病）	----- 33
4 出身市町村別幼児児童生徒数一覧表	----- 35
5 幼児児童生徒数推移	----- 36
6 進路状況	----- 36
7 学校運営組織図	----- 37
8 スクールバス運行	----- 38
◇点字一覧表	----- 43
◇案内図	

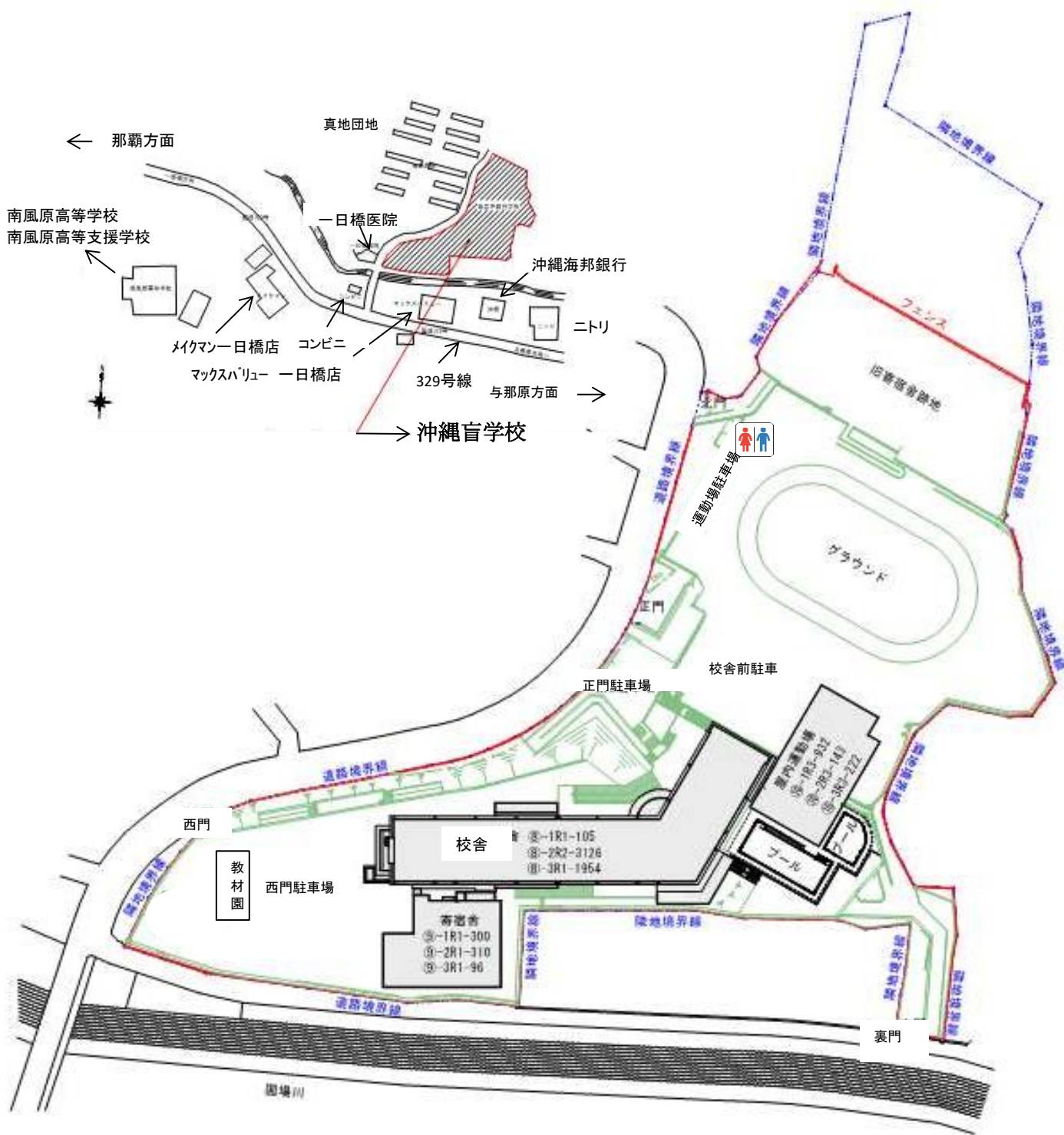
歴代校長一覧

	校長名	任期	在職年数
創設者 (第1代)	高橋 福治	大正10年5月 ~ 昭和20年2月	23年10月
第2代	又吉 康福	昭和26年8月 ~ 昭和32年2月	4年7月
第3代	与那城 朝惇	昭和32年3月 ~ 昭和39年2月	7年
第4代	宮城 康輝	昭和39年3月 ~ 昭和45年12月	6年10月
第5代	所谷 敏雄	昭和46年1月 ~ 昭和56年3月	10年3月
第6代	安座間 喜勝	昭和56年4月 ~ 昭和60年3月	4年
第7代	久田 友明	昭和60年4月 ~ 昭和62年3月	2年
第8代	仲田 稲造	昭和62年4月 ~ 平成3年3月	4年
第9代	儀間 真勝	平成3年4月 ~ 平成5年3月	2年
第10代	仲嶺 貞夫	平成5年4月 ~ 平成7年3月	2年
第11代	花城 隆	平成7年4月 ~ 平成10年3月	3年
第12代	仲宗根 恵蔵	平成10年4月 ~ 平成12年3月	2年
第13代	仲宗根 正則	平成12年4月 ~ 平成14年3月	2年
第14代	伊良皆 賢哲	平成14年4月 ~ 平成16年3月	2年
第15代	西原 千男	平成16年4月 ~ 平成19年3月	3年
第16代	嘉数 睦	平成19年4月 ~ 平成22年3月	3年
第17代	真謝 孝	平成22年4月 ~ 平成23年3月	1年
第18代	比嘉 浩	平成23年4月 ~ 平成25年3月	2年
第19代	大田 幸司	平成25年4月 ~ 平成27年3月	2年
第20代	新垣 伸次	平成27年4月 ~ 平成28年3月	1年
第21代	西永 浩士	平成28年4月 ~ 平成30年3月	2年
第23代	城間 政次	平成31年4月 ~ 令和2年3月	1年
第22・24代	村吉 和枝	平成30年4月 ~ 平成31年3月 令和2年4月 ~ 令和4年3月	3年
第25代	内間 秀樹	令和4年4月 ~ 令和6年3月	2年
第26代	新垣 ゆかり	令和6年4月 ~ 令和8年3月	2年
第27代	有銘 靖雄	令和8年4月 ~	

歴代PTA会長

初代	上里 良正
2代	嘉陽田 朝興
3代	山城 宗雄
4代	中本 正二
5代	佐久川 嘉栄
6代	岸本 盛文
7代	唐真 正次
8代	山城 真一
9代	松田 竹雄
10代	上江洲 朝一
11代	宮城 美幸
12代	安室 悦子
13代	大城 和美
14代	奥浜 光章
15代	奥浜 昌美
16代	森根 和彦
17代	比嘉 直美
18代	平良 真由美
19代	奥浜 光章
20代	平良 真由美
21代	平安山 百合
22代	上江洲 咲希
23代	久貝 元香
24代	伊計 一

校舎配置図

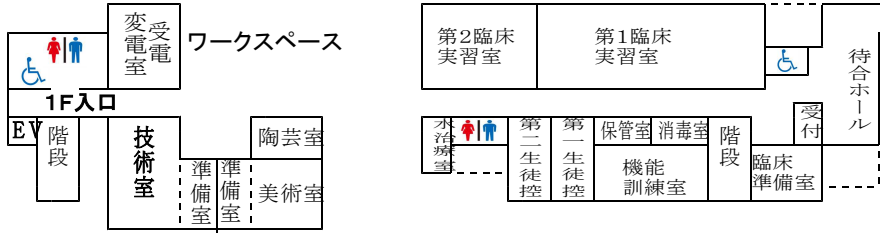


敷地面積	29,153.68 m ²
建面積 校舎 (4階建)	2,738.02 m ²
寄宿舎	820.62 m ²
グラウンド	5,760.00 m ²
プール(大250m ² 、小150m ²)	400.00 m ²
体育館	887.31 m ²

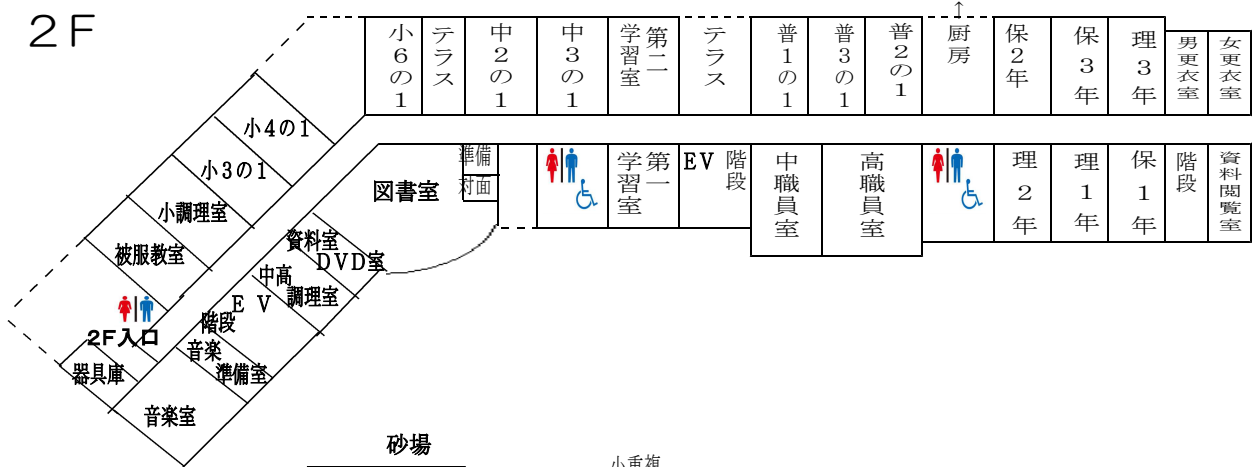
令和8年度 教室等配置図

校舎棟

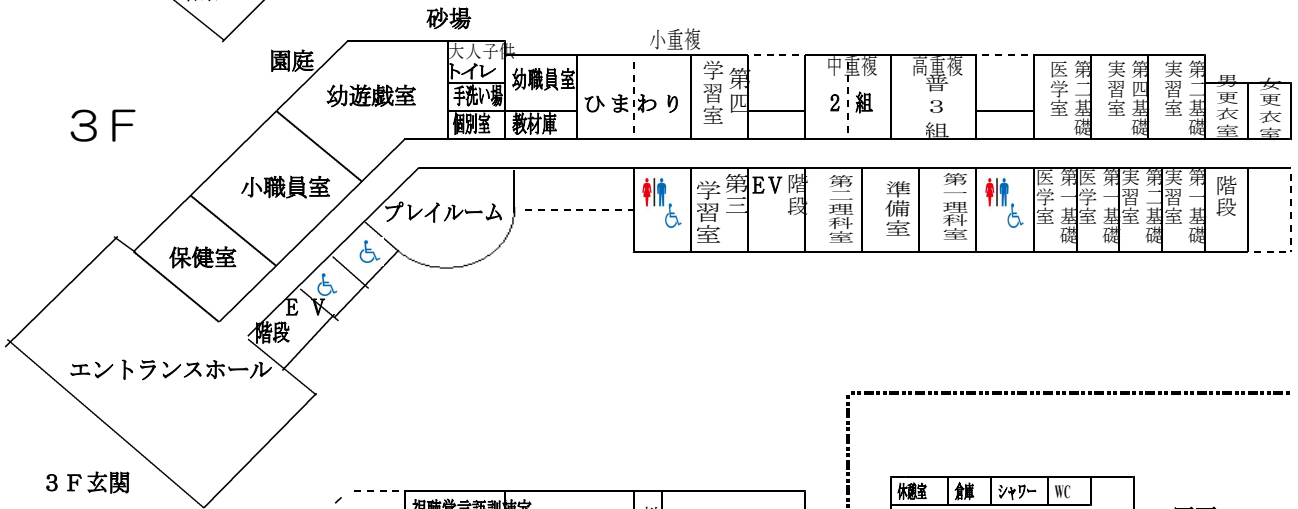
1F



2F

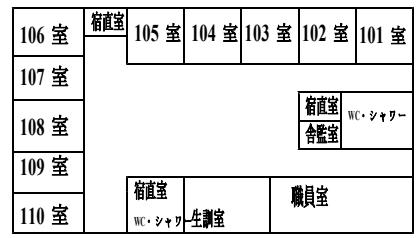
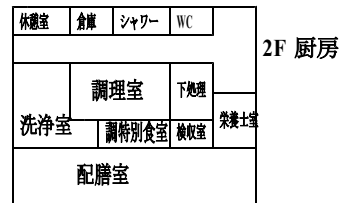


3F



3F 玄関

4F



寄宿舍棟

I 学 校 沿 革 史

- 大正 9. 4 点字指導始まる。那覇市公会堂。
 10. 5 沖縄訓盲院創設。那覇市天妃町2-26 院長 高橋福治氏（賛助会発足）
 13. 4 沖縄私立盲学校となる。
- 昭和 8. 4 新校舎に移転。那覇市松尾61
 15. 4 沖縄県立代用私立盲学校となる。
 16. 4 内務省の指定校として認可を得る。
 18. 4 沖縄県立盲聾哑学校となる。初代校長 高橋福治氏 発令される。
 20. 2 戦火に遭い閉校。
 26. 8 沖縄盲聾哑学校設立認可（初等科、速成科）首里石嶺4-384
 沖縄盲聾学園 第2代校長 又吉康福氏 発令される。
 27. 8 校歌制定。作詞・作曲 中村 文氏。
 28. 4 小・中学部義務教育制施行（琉球教育法）
 29. 9 琉球政府立沖縄盲聾学校となる。（文教局移管）
 30. 5 ヘレンケラー女史来沖「胸を張りなさい。自信を持ちなさい。」と激励された。
 32. 3 与那城朝惇氏 校長事務取扱に発令される。
 4 中学部設置。
 11 第3代校長 与那城朝惇氏 発令される。
 34. 4 盲・ろう分離：琉球政府立沖縄盲学校となる。
 与那城朝惇氏 ろう学校長兼務。
 35. 4 新校舎竣工 一階と二階一部、新校舎に盲部移動。
 36. 4 高等部設置認可。
 10 教室竣工、盲学校移転 首里石嶺町3-296
 37. 5 与那城朝惇氏 専任の校長に発令される。
 6 沖縄盲学校PTA発足。会長 上里良正氏。
 39. 3 文教局義務教育課長 知念繁氏 校長事務取扱併任。
 9 第4代校長 宮城康輝氏 発令される。
 11 弱視教育開始。
 40. 10 校外治療実習始まる。
 41. 7 就学奨励法施行。
 11 行政主席 松岡政保氏 来校。
 43. 9 文部大臣 灘尾弘吉氏 来校。
 44. 10 九州修学旅行（高等部）初実施。
 45. 3 高等部別科認可。
 46. 5 創立50周年記念式典挙行。
 47. 1 第5代校長 所谷敏雄氏 発令される。
 5 祖国復帰に伴い、沖縄県立沖縄盲学校と校名変更。
 50. 11 第6回博報賞並びに文部大臣奨励賞受賞。
 51. 2 沖縄タイムス社より学校花園優良校として表彰。
 4 高等部理療科3年制認可
 幼稚部設置
 10 スクールバス運行開始。
- 昭和 52. 2 文部省指定実験学校最終発表会（重複障害研究）
 56. 3 新校舎竣工（南風原町字兼城473番地）
 4 第6代校長 安座間喜勝氏 発令される。新校舎移転並びに初登校。
 58. 1 創立60周年記念並びに新校舎落成式典。
 4 教頭 仲宗根恵藏氏 事務長 崎山孝子氏 発令される。
 60. 4 第7代校長 久田友明氏 教頭 仲嶺貞夫氏 発令される。
 61. 4 事務長 喜舎場幸氏 発令される。
 4 第8代校長 仲田稲造氏 教頭 本成康浩氏 発令される。
- 平成 元. 4 教頭 仲田文雄氏 発令される。
 2. 11 教頭 銘川愛子氏 発令される。
 3. 4 第9代校長 儀間真勝氏 発令される。
 5 初代校長 高橋福治先生の銅像除幕式、創立70周年記念式典並びに祝賀会。
 4. 3 「花と緑と野鳥の住む学園構想」推進で沖縄県教育長から優秀賞受賞。
 5. 4 第10代校長 仲嶺貞夫氏 発令される。
 6. 4 教頭 山城光雄氏 発令される。
 8 第69回平成6年度 全日本盲学校教育研究大会・沖縄大会開催。

7. 2 第31回全国盲学生点字競技大会 小学部個人の部 第一位 宮城かし子
7. 4 第11代校長 花城隆氏 事務長 真玉橋マチ子氏 発令される。
12 特殊教育諸学校中学部文化祭に参加
8. 3 スロープ設置工事完了。
11 第32回全国盲学生点字競技大会 中学部個人の部 第一位 宮城かし子
9. 2 沖縄県教育委員会指定教育課程研究中間報告会。
4 教頭 松堂勝雄氏 発令される。
10. 4 第12代校長 仲宗根恵蔵氏 事務長 与志平尚子氏 発令される。
12 沖縄県教育委員会指定教育課程研究報告会（最終報告）
11. 4 教頭 照屋盛順氏 発令される。
10 「平成11年度社会参加と自立・就学を進める集い」開催
本科保健療科廃科決定（12年度より専攻科へ）
12. 4 第13代校長 仲宗根正則氏 教頭 宮城哲子氏 事務長 真栄城相子氏 発令
専攻科保健療科新設（本科保理科から）
13. 5 創立80周年記念式典（点字プリンター一式の購入）
14. 4 第14代校長 伊良皆賢哲氏 事務長 村山勝信氏 発令される。
15. 4 教頭 嘉数睦氏 発令される。
5 幼稚部・早期教育相談でピアサポート開始
2 沖縄県教育委員会指定グループ研究「視覚障害教育支援のためのセンター化
構想に関する研究」報告
16. 4 第15代校長 西原千男氏 教頭 城間律子氏 事務長 渡久地秀子氏 発令される。
11 第36回全国盲学校点字競技大会 小学生の部 第一位 安室早姫
団体の部 第三位 中学部
17. 4 初任者研修小学部白ヶ澤英子他10名、定数内臨任職員10名 発令される。
18. 4 教頭仲尾武他13名、定数内臨任職員13名 発令される。
19. 4 第16代校長 嘉数睦氏他7名 定数内臨任職員15名 発令される。
7 九州地区盲学校PTA大会が本校を主管校として沖縄県で開催される。
20. 12 第1回視覚障害者学生柔道大会 高等部普通科1年 屋比久 匠90kg級 優勝
21. 1 沖縄県学校ダンスフェスティバル 特別賞受賞
22. 4 第17代校長 真謝孝氏 事務長 浦崎寅彦氏 初任者研修職員4名 他7名、定
数内臨任職員7名 発令される。
23. 4 第18代校長 比嘉浩氏 教頭 平田実氏 他7名、臨任職員等20名 発令される。
24. 4 事務長 上地大作氏 他9名、定数内臨任、補充職員等20名 発令される。
5 創立記念日、校舎改築工事合同安全祈願祭実施。
25. 4 第19代校長 大田幸司氏 教頭 又吉安一氏 他7名、臨任等19名 発令される。
8 新校舎・全体引越し(職員・PTA・ボランティア等)
9 第2学期始業式・新校舎入校式
26. 4 本務職員8名、定数内臨任、補充職員等15名 発令される。
11 平成25、26年度県教育委員会指定研最終報告会、平成26年度九州盲学校研
究大会(公開授業)～21日、九理教研(本校)(講師…福岡教育大学 韓星民氏)
27. 4 第20代校長 新垣伸次氏 教頭 栗國静夫氏 事務長 徳元ゆかり氏 他12名、
臨任等23名 発令される。
11 点字記念日集会 講師：宮城かしこ氏(本校卒業生)
12 第18回沖縄県特別支援学校音楽教育研究会 沖縄市民会館 中学部5名出場
28. 4 第21代校長 西永浩士氏 他11名、臨任等19名 発令される。
6 運動場オープンセレモニー
29. 4 教頭 濱元伸氏、事務長 大嶺登希子氏 他9名、臨任等24名 発令される。
6 正門完成セレモニー(校舎改築終了)
11 九州地区盲学校音楽大会(宮崎県) ハーモニー賞受賞(神山希和、伊藤千夏)
30. 4 第22代校長 村吉和枝氏、他8名、臨任等職員19名 発令される。
4 第56回母の日の図画作文コンクール作文の部 特賞(奥平愛司)
10 100周年期成会発足集会
11 第68回ヘレン・ケラー記念音楽コンクールピアノ3部 1位(宮城翔)
1 沖縄県教育委員会指定グループ研究「視覚障害児のイメージ力向上を目指し
た教科指導の工夫」～系統性のある語彙・触図の指導を通して～」最終報告
2 沖縄県児童生徒等表彰 他の児童生徒の模範部門(佐野七奈)
31. 4 第23代校長 城間政次氏、他14名、臨任等職員23名 発令される。
令和元年 5 新元号「令和」施行

- 令和2年. 2 パラリンピアン来校（ブラインドサッカー体験）
 沖縄県特別支援学校駅伝競走大会初出場（中学部）
- 3 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため県立学校一斉臨時休校
- 4 第24代校長 村吉和枝氏、他13名、臨任等職員16名発令される。
- 11 創立100周年記念チャリティーコンサート（三線クラブ出演）
- 3 福治の庭（校訓石碑・点字説明板）及び五行の庭除幕式
- 令和3年. 4 教頭 平良浩希氏、事務長 伊禮理氏 他9名、臨任等15名発令される。
- 5 創立100周年 記念式典・祝賀会 本校体育館にて開催
- 令和4年. 4 第25代校長 内間秀樹氏、他10名、臨任等15名発令される。
- 令和5年. 4 定期人事異動により転入教頭 川満恵、事務長 金城亨、他14名が着任
- 令和6年. 4 第26代校長 校長 新垣ゆかり、他10名、臨任等6名発令される。
- 令和7年. 4 教頭 朝倉康介、事務長 新垣 伸行、他3名、臨任等18名発令される。
 入学式 幼稚部1名、中学部2名、高等部普通科1名 計4名
 寄宿舎入舎式 中学部6名、高等部普通科8名、専攻科4名 計18名
 春の遠足（沖縄セルラーパーク那覇）
- 5 火災避難訓練（東部消防組合消防本部職員来校）
 沖盲デー（PTA総会）
 寄宿舎火災避難訓練
- 6 プール開き
 中学部就業体験～13日
 九州地区盲学校体育大会 第三十三回フローバレーボール大会（福岡県）
- 7 沖盲ふれeyeデー
- 10 第37回運動会 テーマ「光る汗 スマイル輝け 運動会 絆を深める1日へ
 ～ナンバー1よりオンリー1～」
- 11 中学部修学旅行 ～18日
 九州方面（北九州市立いのちのたび博物館、キッズニア福岡 はねや総本舗）
 専攻科 台北市立啓明学校(台湾)オンライン交流 ～20日
- 12 ゴールボール講習会(パリパラリンピックゴールボール日本代表 安室早姫氏)
 高等部修学旅行 関西方面
 （カップヌードルミュージアム、六甲スノーパーク、民族博物館）～9日
 音楽鑑賞会（フコク生命「すまいる・こんさーと」弦楽四重奏）
 チャリティーミュージックソン街頭募金活動
 （かねひで一日橋店、南風原町役場）～17日
- 3 令和7年度高等部卒業式(本科普通科7人、専攻科保健理療科5人、理療科2人)
 令和7年度 小学部、中学部、高等部 修了式、離任式
 国家試験合格（あん摩マッサージ指圧師3名、はり師1名、きゅう師1名）
 定期人事異動により9名転出 1名退職

令和8年度(2026年)学校経営・教育課程

Ⅰ 教育目標と目指す方向

(1)学校教育目標

幼児児童生徒個々の障害の程度や発達段階に応じた適切な教育を行い、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、主体的に学び、生活する能力と態度・意欲を養い、健康でたくましく、心豊かに生きる力を身につけ、自立し社会参加する人材の育成を図る。

(2)具体的目標

①めざす幼児児童生徒像

- 元気で明るく、自分のことを大切にす幼児児童生徒（健康）
- 自ら学び、創造性豊かな幼児児童生徒（主体）
- 協調性と思いやりのある幼児児童生徒（協力）
- 最後までねばり強く取り組む幼児児童生徒（自立）
- 自立し社会参加に向けて努力する幼児児童生徒（自律）

②めざす学校像

- 幼児児童生徒の人格の完成をめざし、豊かな感性とじりつ（自立・自律）の心を育む学校
- 幼児児童生徒が一人一人に応じた生きる力を身につけ、社会参加と貢献をめざす学校
- 幼児児童生徒が、笑顔で心豊かに人と関わり、意欲を育て自己実現をめざす学校
- 幼児児童生徒や保護者、勤務する職員がつながり、「よかった」という「おもい」を実感できる学校
- 視覚障害のある幼児児童生徒が自らのもてる力の発揮や感覚を活用する力を育む学校。（「花と緑豊かで野鳥がすみ、様々な体験ができる安全な場の設定」）
- 本校の歴史を継承し、未来につながる視覚障害教育の拠点として地域に開かれ、信頼される学校

③めざす教職員像

幼児児童生徒一人一人の人権を大切にし、それぞれの幼児児童生徒に応じた「**自立し、社会に参加する**」という目標達成に向けて、「児童生徒に教えることから常に学び続ける」ことができる教職員

- 児童生徒一人一人の視点に立ち、「良さ」の伸長に努める教職員
- 日々の教育活動に真摯に取り組み、実践の客観的な振り返りと改善・充実に努める教職員
- 特別支援教育の専門家として学び続ける教職員
- 教育公務員として自覚し、責任を持つ教職員
- 学校運営に対して広い視野に立ち、主体的に参画する教職員
- 保護者の思いや願いを共感的に理解するとともに、協働して児童生徒の「みらい」を考える教職員

2 学校の教育目標を達成するための方針（基本的考え方）

（1）特別支援学校（盲学校）の使命・役割

- ① 「特別支援教育」の理念及び教育関係法令等に基づき、在籍する幼児児童生徒一人一人の実態や教育的ニーズに応じた合理的配慮を提供するとともに、その持てる力を高め、障害に起因する学習・生活上の困難を改善又は克服するために、適切な指導・必要な支援の実施を教育活動の基本とする。
- ② 基礎基本の習得の徹底により確かな学力の育成を図る。健康でたくましく、心豊かに自立し、社会参加・貢献できる視覚障害児・者の育成をめざした教育の充実に努める。
- ③ 県内唯一の視覚障害教育に特化した教育機関として、専門性の向上と情報発信に努め、特別支援教育のセンターとしての機能充実に努める。

（2）「一致・協働（チーム学校）」の体制づくりとR-PDCAのプロセス

【Research（実態把握・調査研究）－Plan（計画立案）－Do（実践）－Check（評価）－Action（改善）】

- ① 教育目標等の達成をめざし、「人権・人格の尊重」、「協働」、「連携」を学校組織運営の理念とする。
- ② 「一人一人が役割と責任を果たすことで組織全体が生きる」ことを自覚するとともに、情報共有や共通理解を重視し、視覚障害のある幼児児童生徒の教育の充実に向けて「一致・協働・発信」を行い、組織で取り組む。及び「チーム学校」としての組織づくり。
- ③ 視覚障害のある幼児児童生徒が安全で安心できる教育環境を整備し、効率的な学校運営を図り、幼児児童生徒一人一人の望ましい変容・発達を促す教育活動の推進・充実に努める。
- ④ 教職員一人一人が、課題意識を持ち、R-PDCAのプロセスを意識しながら取り組む。教育活動における「実態把握」「取組の評価と改善」につなげる。教育活動の展開においては、指導内容の精選を行い、幼児児童生徒が指導内容を理解するための時間を確保する。そのためにも視覚障害教育における専門性、教科指導における専門性を
- ⑤ 職員同士の同僚性を高め、職員一人一人が学校経営に参画する組織体制を構築する。

3 本年度の重点目標と具体的な実践計画

（1）幼児児童生徒の発達段階に即した教育課程の編成・学習指導の充実に努める。

- ① 学部間の連携を密にし、一貫性のある教育課程を編成するとともに、毎時間の授業の充実に努め、基礎学力の定着と確かな学力の育成、学びの連続性の確保をめざす。
- ② R-PDCAサイクルに基づく、適切な実態把握による目標設定と指導内容、方法の充実及び客観的な評価の実施など、個に応じた指導の充実に努める。また、教科等横断・学部横断的な視点での指導を展開し、カリキュラム・マネジメントを推進する。
- ③ 幼児児童生徒の実態に応じたICT機器を含む、補助具等適切な支援機器の活用の推進と本校にある教材を理解し、必要がある場合は作成しながら、活用に努める。
- ④ 自立活動の指導体制の確立と一人一人の実態に応じた指導実践の充実に努める。

- ⑤外部人材の活用等を含め、視覚障害の状態や疾患に配慮した指導の改善・充実を図る。
- ⑥「視覚障害教育（盲教育・弱視教育）及び教科等の専門性を支える校内研修を通して、専門性の向上に努め、視覚障害のある幼児児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図る。

（２）特別支援教育の推進

- ①一人一人の教育的ニーズを把握し、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」、寄宿舎においては「個別の生活指導計画」の作成及び活用・充実を図り、指導に関する情報や専門性の共有、継承及び協働を推進する。
- ②教育支援部を中心とした教育・福祉・医療及び県や市町村等の関係機関と連携した啓発、支援、相談体制の確立を図ると共に組織体制を構築する。
- ③保護者及び関係機関と連携した幼稚部教育、重複障害教育の充実を図る。
- ④幼児児童生徒の一定の在籍数の確保を目指した学校体制の構築を図り、学校の発信力を強化し、本校の視覚障害教育のセンター的機能の充実を図り、地域社会への広報及び啓発事業を展開する。また、専攻科においては視覚障害のある人の職業選択の一つとして「あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の魅力」をやりがいのある職業として発信する。

（３）教育環境の整備と充実の推進

- ①安全で安心して活動ができる、感覚を育てる**五感で感じる**教育環境の整備を図る。
- ②必要に応じて教育環境検討委員会を設置し、視覚障害特別支援学校として長期的な学校施設整備のあり方について検討し、整備・充実を図る。

（４）生徒指導及び進路指導の充実

- ①障害受容や自己理解を進めるとともに、集団や社会の一員として自己実現が図れるように児童生徒の実情を踏まえた生徒指導の充実を図る。
- ②保護者・家庭状況を理解し、家庭や関係機関と連携して支援を行う。
- ③人権教育については、毎月10日「人権を考える日」を設定し、学級活動・ホームルーム活動等において、各学部段階で適切に位置づけ充実を図る。
- ④高校、大学等進学希望者のため進路指導・受験指導及びあん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の国家試験対策の充実を図る。
- ⑤ワークキャリアに加えてライフキャリアの内容も含めたキャリア教育全体計画に基づいた実践を図る。また、「キャリアパスポート」を作成し、一人一人に沿ったキャリア形成（身に付けたい能力）と自己実現の達成に努める。
- ⑥小・中・高一貫した進路指導の推進及び各学部における職場見学・就業体験、職場開拓の充実を図る。
- ⑦保護者、関係機関等と連携した「個別の教育支援（移行支援）計画」の作成、活用による進路希望実現の取組を推進する。
- ⑧重複障害学級生徒の個々の実態に応じた進路指導を保護者の理解も進めながら進める。

(5) 重複障害教育の充実

- ①重複障害の幼児児童生徒の初期学習をはじめとした適切な指導の継続と指導体制を整備し、学部間連携で一貫した指導をおこなう。
- ②幼児児童生徒一人一人の実態に応じた安全管理、健康の保持増進に努める。
- ③教材・教具等の創意工夫による指導方法・指導内容等の充実、特に自立活動の充実を図り、教科等の学習につなげる。

(6) 共生社会の形成に向けて幼児児童生徒の相互理解を図るためのインクルーシブ教育システムの推進

- ①インクルーシブ教育システムを進める視点で交流及び共同学習を積極的、計画的に推進する。
- ②保護者や対象校と連携し居住地校交流の充実を図る。
- ③教育活動において**学校行事等**にボランティアを積極的に活用する。

(7) 安全・健康・給食指導の充実

- ①視覚障害のある幼児児童生徒の体育等の指導を通して、体力の増進、生涯スポーツ等につながるよう礎とする。
- ②**医療的ケア等を要する**幼児児童生徒の健康管理と安全対策を図る。
- ③安全でおいしい給食を提供し、全職員で食育(発達に応じた喫食指導含む)を推進する。
- ④スクールバスの安全運行と整備点検及び送迎時の児童生徒・保護者への適切な対応を行う。
- ⑤基本的な感染症対策を図ると共に、実態に応じた健康教育の推進を図る。

(8) 情報教育の充実

- ①各学年の実態に応じた情報教育の推進を図る。
- ②視覚障害代替機能としてのICT機器等活用能力の向上に努める。また、必要がある場合遠隔授業等による学習保障に努める。
- ③情報機器を活用した校務の効率化の推進を図る。

(9) 生涯学習への意欲を高める指導の充実を図る。

- ①幼児児童生徒の実態に応じて興味・関心を広げ、主体的な活動の充実を図る。
- ②スポーツや文化芸術活動など、幅広い体験の機会を設定するよう努める。
- ③地域の教育資源(社会教育施設や学習の機会)の積極的な活用を図る。
- ④卒業後の社会参加を見据え、主体的に学びの場を選択・決定できるよう促す。

(10) 図書室・資料室の整備・充実

- ①ボランティアを活用した読書活動の推進を図る。(校内の関係諸資料の整備と対面朗読室の活用)
- ②調べ学習を促進する図書室の整備・充実を図る。
- ③電子図書等の充実を図る。
- ④教材研究を支える専門図書等の充実を図る。

⑤本校並びに盲教育の歴史資料の収集と資料室の整備に努める。

(11) 寄宿舎における生活指導の充実

- ①「個別の生活指導計画」の作成、活用による個に応じた生活指導の充実を図る。
- ②学部・寄宿舎・家庭連携による個に応じた生活指導と自主学習・自主活動の推進を図る。
- ③異年齢集団での生活をとおした豊かな人間関係と社会性の育成に努める。

(12) 教職員の働き方改革の推進

- ①教職員が働き方に対する意識改革に取り組み、充実した教職生活を送るためのワーク・ライフ・バランスを重視し、働きやすい勤務環境を整える。
- ②学校評価と連動した業務改善に取り組むために、各種会議の効率化、目的を明確にした学校行事の精選、校務分掌の見直し、ICTを活用した校務の効率化、教材等の共有を図る。

4 教育課程編成の基本方針

教育課程は、学校教育目標を達成するための基本計画であり、関係法令及び学習指導要領に基づいて幼児児童生徒の障害の状態、発達の段階や特性等を十分考慮するとともに、次の点に留意し教育目標、幼児児童生徒像の実現を目指して編成する。

- (1) 幼・小・中・高等部の発達、特性に即して自ら学ぶ意欲と態度、確かな学力の定着を目指し、生きる力をはぐくむ一貫性のある指導内容・方法を明確にした個に応じた指導を推進する教育課程の編成に努める。
- (2) 学習指導要領の趣旨を理解し、育成すべき資質・能力を明確にし、各学部が連携して「社会に開かれた教育課程」の編成に取り組む。
- (3) 多様な実態の幼児児童生徒に即して基礎的・基本的な教育内容を明らかにし、豊かな情操を養い、確かな学力が着実に身に付くよう個に応じた指導の重視と授業形態や集団の構成の工夫に努め、学習意欲の向上や学習習慣の確立を図る。
- (4) 学校教育活動全体を通した言語活動の充実及び、特別の教科道徳等、体育・健康に関する指導、自立活動の指導を計画的に行い、心身共に健康な生活を送ることを目指した基本的生活習慣の形成と健康安全管理・健康の保持増進の態度と技能の定着を図る。
- (5) 各教科等の指導や**作業学習**や就業体験、**職場現場実習**等キャリア教育の充実を図り、職業に関する基礎知識、基礎技能等の習得と就労及び卒業後に向けて意欲を高める。
- (6) 幼児児童生徒の入学から卒業後までの一貫した指導体制の確立と一人一人の教育的ニーズに応える「個別の教育支援計画」及び「個別移行支援計画」の作成・活用に努める。
- (7) 自立活動を含め、各教科等の指導に係る「個別の指導計画」を作成・活用し、個々の障害による学習・生活上の困難を改善又は克服に即した指導が図れるよう編成する。
- (8) 準ずる教育課程における「総合的な学習の時間」は、小学部3年以上中学部、「総合的な探究の時間」は高等部の教育課程に位置づける。

また、知的障害を併せ有する教育課程については、中学部においては「総合的な学習の時間」高等部においては「総合的な探求の時間」において位置づける。

- (9) 居住地の学校や近隣の学校との交流及び共同学習は、幼児児童生徒等の実態等を踏まえ、実施方法の検討を行い、**各学部の特徴と個別のニーズによる方法等の検討**を行い計画的・積極的に推進する。
- (10) 一般学級は、小、中、高等学校に準じ、教育課程を編成する。なお、障害の状態により特に必要がある場合は、「重複障害者等に関する教育課程の取扱い」に基づき弾力的に編成する。
- (11) 重複障害学級における教育課程の編成に当たっては、学習指導要領に示す「重複障害者等に関する教育課程の取扱い」に基づき障害の状態に応じて弾力的に編成する。特に知的障害を併せ有する場合は、知的障害者の障害特性を踏まえ、各教科等の内容を踏まえ、**教育課程編成基準に準じて編成**を行い、実態に応じた指導の充実を図る。
- (12) 専攻科においては、教育活動全般を通してあん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師国家資格取得と就労に結びつく職業教育に取り組む。また、生徒の学びの履歴や社会経験等を考慮し、指導の充実を図る。



沖縄県立沖縄盲学校グランドデザイン 2026

本校の在籍(4月1日現在)

	男子	女子	合計
幼稚部	2	0	2
小学部	4	3	7
中学部	7	2	9
高等部(7)	4	3	7
専攻科	12	1	13
合計	29	9	38
寄宿舎	11	5	16

▶ 学校教育目標

「幼児児童生徒個々の障害の程度や発達段階に応じた適切な教育を行い、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、主体的に学び、生活する能力と態度・意欲を養い、健康でたくましく、心豊かに生きる力を身につけ、自立し社会参加する人材の育成を図る。」

▶ 校訓

「清く明るくよく学び 光り輝く」
本校創立者の高橋福治→
「視覚障害による困難を乗り越え、自立し、社会参加・貢献する人材の育成」を継承する。



本校のミッション(使命)

・「視覚障害のある幼児児童生徒が学び方や生活の仕方を身に付けることができる学校」として系統的な教育実践に取り組む。県内唯一の視覚障害のある幼児・児童・生徒に専門的な指導・支援を行う。また、地域の特別支援教育のセンター的役割を担う。

本校のビジョン(将来像)

・「視覚障害のある幼児児童生徒が学び方や生活の仕方を身に付けることができる学校」として、役割を担い続けられる学校

つなぎ・つながる開かれた学校

豊かな学びで一人一人のじりつ（自立・自律）を育む学校

安全・安心な学校

一人一人の人権を大切にする学校

本年度(令和8年度)の学校課題解決に向けての取組

- (1)チーム学校の推進、保護者や地域とのつながりを大切にする学校づくり
- (2)適切な実態把握に基づく目標設定と指導内容の充実、指導と評価の一体化、個に応じた指導の充実
- (3)個別の教育支援計画、個別の指導計画、寄宿舎生活指導計画の作成・活用と年間指導計画との連動
- (4)キャリア教育の推進(進路指導のとどまらない、就業体験、進路開拓の充実、進学、生涯学習)
- (5)障害の特性の的確な把握、寄宿舎教育の充実と工夫、健康上配慮が必要な幼児児童生徒への支援の充実
- (6)不審者対応や災害時の対応等、危機管理体制の充実
- (7)施設設備の機能的な管理及び校内緑化の推進、図書教育・安全教育・食育の充実、防災教育の推進
- (8)交流および共同学習の推進、在籍幼児児童生徒数の増加に向けた取組、視覚障害教育及び特別支援教育のセンター的機能を担う学校としての相談支援の充実
- (9)各部の連携による校内体制の整備と、視覚障害教育の専門性向上を図る校内研修の充実及び各種研修会への積極的参加
- (10)自立活動及び道徳教育の充実と、全ての教育活動におけるICT活用の推進
- (11)服務規律の徹底と働き方改革推進
- (12)関係機関(PTAや同窓会、沖視協、ボランティア等)との連携強化
- (13)法令等を遵守し、予算等の適正処理執行、スクールバスの安全運行及び安全・安心な教育環境を支える施設管理の徹底
- (14)コミュニティ・スクールの導入に向けて、保護者・地域・関係機関等と連携協働体制を構築する。

R-PDCAサイクルによる(学校評価 教職員評価)

「100年の歴史を越えて、つながりつなげる」学校教育の推進

Ⅲ 教育課程

1. 各学部の年間授業日数配当表及び教育課程表・時数配当表

Ⅰ 幼稚部

(1) 幼稚部の教育目標

- ① 元気で明るく、たくましい子
- ② よく見て、よく触って、よく表現する子
- ③ 友達と仲良く遊ぶ子
- ④ 自分の力でやろうとする子
- ⑤ 身の回りのことが、自分でできる子

(2) 教育日数、教育時数及び教育週数の配当

年齢	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3	教育日数	16	18	21	13	0	19	20	17	19	17	18	15	193
	教育時数	58	69	84	51	0	75	79	67	75	67	72	55	752
	教育週数						43	週（年間の教育週数）						43
4	教育日数	16	18	21	13	0	19	20	17	19	17	18	15	193
	教育時数	58	69	84	51	0	75	79	67	75	67	72	55	752
	教育週数						43	週（年間の教育週数）						43
5	教育日数	16	18	21	13	0	19	20	17	19	17	18	10	188
	教育時数	58	69	84	51	0	75	79	67	75	67	72	36	733
	教育週数						42	週（年間の教育週数）						42

2 小学部

(1) 教育目標

- ① 健康で明るく、たくましい子
- ② 進んで学び、よく考える子
- ③ 心豊かで思いやりのある子
- ④ 最後まで頑張る子
- ⑤ 自分のことは自分でできる子

(2) 年間授業日数配当表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	16	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	196
2年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
3年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
4年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
5年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
6年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	10	192

(3) 教育課程表(I課程)・時数配当表(II課程)

① I課程-A

教科等	1年		2年		3年		4年		5年		6年		備考	
	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数		
各教科	国語	255	7.5	263	7.5	227	6.5	210	6	175	5	175	5	
	社会					70	2	105	3	105	3	105	3	
	算数	170	5	228	6.5	210	6	192.5	5.5	175	5	192.5	5.5	
	理科					70	2	105	3	105	3	105	3	
	生活	85	2.5	87	2.5									
	音楽	68	2	52	1.5	53	1.5	52.5	1.5	42	1.2	35	1	
	図画工作	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
	家庭									42	1.2	35	1	
	体育	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	保健を含む
	外国語									70	2	70	2	
小計	680	20	735	21	735	21	770	22	819	23.4	822.5	23.5		
道徳科	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1		
外国語活動					35	1	35	1	0	0	0	0		
総合的な学習の時間					35	1	35	1	42	1.2	49	1.4		
特別活動	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1		
自立活動	102	3	105	3	105	3	105	3	84	2.4	73.5	2.1		
合計	850	25	910	26	980	28	1015	29	1015	29	1015	29		

② I課程-B

教科等	1年		2年		3年		4年		5年		6年		備考	
	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数		
各教科	国語	221	6.5	228	6.5	192	5.5	175	5	140	4	140	4	
	社会					70	2	105	3	105	3	105	3	
	算数	170	5	228	6.5	210	6	192.5	5.5	175	5	192	5.5	
	理科					70	2	105	3	105	3	105	3	
	生活	85	2.5	87	2.5									
	音楽	68	2	52	1.5	53	1.5	52.5	1.5	42	1.2	35	1	
	図画工作	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
	家庭									42	1.2	35	1	
	体育	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	保健を含む
	外国語									70	2	70	2	
小計	646	19	700	20	700	20	735	21	784	22.4	787	22.5		
道徳科	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1		
外国語活動					35	1	35	1	0	0	0	0		
総合的な学習の時間					35	1	35	1	42	1.2	49	1.4		
特別活動	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1		
自立活動	136	4	140	4	140	4	140	4	119	3.4	109	3.1		
合計	850	25	910	26	980	28	1015	29	1015	29	1015	29		

③ II 課程-A

教科等		1年		2年		3年		4年		5年		6年		備考
		授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	
各教科	生活	323	9.5	332.5	9.5	297.5	8.5	297.5	8.5	297.5	8.5	297.5	8.5	
	国語	122.4	3.6	126	3.6	189	5.4	196	5.6	196	5.6	196	5.6	
	算数	47.6	1.4	84	2.4	112	3.2	119	3.4	119	3.4	119	3.4	
	音楽	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	
	図画工作	51	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	
	体育	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	保健を含む
計		680	20	735	21	791	22.6	805	23	805	23	805	23	
道徳科		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
外国語活動						14	0.4	35	1	35	1	35	1	
特別活動		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
自立活動		102	3	105	3	105	3	105	3	105	3	105	3	
計		170	5	175	5	189	5.4	210	6	210	6	210	6	
合計		850	25	910	26	980	28	1015	29	1015	29	1015	29	

④ II 課程-B

教科等		1年		2年		3年		4年		5年		6年		備考
		授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	
各教科	生活	340	10	350	10	350	10	350	10	350	10	350	10	
	国語	46	1.3	82	2.3	117	3.3	116	3.3	116	3.3	116	3.3	
	算数	40	1.2	42	1.2	42	1.2	78	2.2	78	2.2	78	2.2	
	音楽	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	
	図画工作	50	1.5	51	1.5	51	1.5	51	1.5	51	1.5	51	1.5	
	体育	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	保健を含む
計		612	18	665	19	700	20	735	21	735	21	735	21	
道徳科		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
外国語活動						35	1	35	1	35	1	35	1	
特別活動		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
自立活動		170	4	175	5	175	5	175	5	175	5	175	5	
計		238	6	245	7	280	8	280	8	280	8	280	8	
合計		850	24	910	26	980	28	1015	29	1015	29	1015	29	

3 中学部

(1) 教育目標

- ①元気で明るく、健康・安全に心がけ、気力・体力を高める。
- ②自らの進路に向けて自ら学び、学力を高める。
- ③協調性と思いやりの心を育む。
- ④最後までねばり強く、やり抜く態度を養う。
- ⑤自立し社会参加するための力や態度を養う。

(2) 年間授業日数配当表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年	16	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	196
2年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
3年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	10	192

(3) 教育課程表（Ⅰ課程）・時数配当表（Ⅱ課程）

① Ⅰ課程-A

教科等		1年		2年		3年		備考	
		授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数		
各教科	国語	122.5	3.5	140	4	105	3		
	社会	105	3	105	3	122.5	3.5		
	数学	140	4	105	3	140	4		
	理科	105	3	140	4	140	4		
	音楽	35	1	35	1	52.5	1.5		
	美術	35	1	35	1	52.5	1.5		
	保健体育	87.5	2.5	87.5	2.5	87.5	2.5	保健を含む	
	技術・家庭	技術分野	35	1	35	1	17.5	0.5	
		家庭分野	35	1	35	1	17.5	0.5	
	外国語	140	4	122.5	3.5	140	4		
選択教科		0	0	0	0	0	0		
		0	0	0	0	0	0		
		0	0	0	0	0	0		
小計		840	24	840	24	875	25		
道徳科		35	1	35	1	35	1		
総合的な学習の時間		35	1	35	1	35	1		
特別活動		35	1	35	1	35	1		
自立活動		70	2	70	2	35	1		
計		175	5	175	5	140	4		
合計		1015	29	1015	29	1015	29		

② I 課程—B

教科等		1年		2年		3年		備考	
		授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数		
各教科	国語	122.5	3.5	140	4	105	3		
	社会	105	3	105	3	122.5	3.5		
	数学	122.5	3.5	105	3	140	4		
	理科	105	3	122.5	3.5	140	4		
	音楽	35	1	35	1	52.5	1.5		
	美術	35	1	35	1	52.5	1.5		
	保健体育	87.5	2.5	87.5	2.5	87.5	2.5	保健を含む	
	技術・家庭	技術分野	35	1	35	1	17.5	0.5	
		家庭分野	35	1	35	1	17.5	0.5	
	外国語	140	4	122.5	3.5	122.5	3.5		
	選択教科		0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0		
		0	0	0	0	0	0		
小計		822.5	23.5	822.5	23.5	857.5	24.5		
道徳科		35	1	35	1	35	1		
総合的な学習の時間		35	1	35	1	35	1		
特別活動		35	1	35	1	35	1		
自立活動		87.5	2.5	87.5	2.5	52.5	1.5		
計		192.5	5.5	192.5	5.5	157.5	4.5		
合計		1015	29	1015	29	1015	29		

③ II 課程—A

教科等		1年		2年		3年		備考	
		授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数		
各教科	国語	105	3	105	3	105	3		
	社会	70	2	70	2	70	2		
	数学	105	3	105	3	105	3		
	理科	70	2	70	2	70	2		
	音楽	70	2	70	2	70	2		
	美術	70	2	70	2	70	2		
	保健体育	70	2	70	2	70	2	保健を含む	
	職業・家庭	職業分野	70	2	70	2	70	2	
		家庭分野	70	2	70	2	70	2	
	外国語	70	2	70	2	70	2		
	選択教科		0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0		
		0	0	0	0	0	0		
小計		770	22	770	22	770	22		
道徳科		35	1	35	1	35	1		
総合的な学習の時間		35	1	35	1	35	1		
特別活動		35	1	35	1	35	1		
自立活動		140	4	140	4	140	4		
計		245	7	245	7	245	7		
合計		1015	29	1015	29	1015	29		

④ II 課程一B

教科等		1年		2年		3年		備考	
		授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数		
各教科	国語	70	2	70	2	70	2		
	社会	70	2	70	2	70	2		
	数学	70	2	70	2	70	2		
	理科	70	2	70	2	70	2		
	音楽	105	3	105	3	105	3		
	美術	105	3	105	3	105	3		
	保健体育	105	3	105	3	105	3	保健を含む	
	職業・家庭	職業分野	35	1	35	1	35	1	
		家庭分野	35	1	35	1	35	1	
	外国語	70	2	70	2	70	2		
	選択教科		0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0		
		0	0	0	0	0	0		
小計		735	21	735	21	735	21		
道徳科		35	1	35	1	35	1		
総合的な学習の時間		35	1	35	1	35	1		
特別活動		35	1	35	1	35	1		
自立活動		175	5	175	5	175	5		
計		280	8	280	8	280	8		
合計		1015	29	1015	29	1015	29		

4 高等部

(1) 教育目標

- ① 自己の健康管理能力を高める。
- ② 自ら学び、学力の向上と職業能力の強化に努める。
- ③ 自己の確立と協調性の育成に努める。
- ④ 最後までねばり強く努力し成し遂げる姿勢を育む。
- ⑤ 社会人としての自覚と豊かな人間性の育成に努める。

(2) 年間授業日数配当表

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
			本科	普通科	1年	16	18	21	13	0	19	21	19	19	17
2年	17	18			21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
3年	17	18			21	13	0	19	21	19	19	17	18	1	183
専攻科	保健医療科	1年	16	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	196
		2年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
		3年	17	18	21	16	0	19	21	19	19	17	18	1	186
	医療科	1年	16	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	196
		2年	17	18	21	13	0	19	21	19	19	17	18	15	197
		3年	17	18	21	16	0	19	21	19	19	17	18	1	186

(3) 教育課程表 (I 課程)・時数配当表 (II 課程)

① 本科普通科 I 課程 A 令和6年入学者

各教科 科目等	科目名 単位数	類型標準	学 年						合計	
			1年	2年		3年		文系	理系	
				文系	理系	文系	理系			
普通教育に関する各教科・科目	国語	現代の国語	2	2	0	0	0	0	2	2
		言語文化	2	0	2	2	0	0	2	2
		国語表現	4	0	0	0	4	4	4	4
	地理	地理総合	2	0	0	0	2	2	2	2
		歴史総合	2	0	2	2	0	0	2	2
	公民	公共	2	2	0	0	0	0	2	2
		数学	3	4	0	0	0	0	4	4
	数学	数学Ⅱ	4	0	2	2	4	4	6	6
		数学A	2	0	2	2	0	0	2	2
		数学B	2	0	0	0	0	2	0	2
		理科	2	0	0	4(選)	0	0	0	4(選)
	理科	物理	4	0	0	0	0	4(選)	0	4(選)
		化学基礎	2	0	0	(選)	2	0	2	0
		化学	4	0	0	0	0	(選)	0	(選)
		生物基礎	2	2	0	0	0	0	2	2(選)
		生物	4	0	0	0	0	(選)	0	(選)
		地学基礎	2	0	2	(選)	0	0	2	(選)
	保健体育	体育	7~8	2	3	3	2	2	7	7
		保健	2	1	0	0	1	1	2	2
	芸術	音楽Ⅰ	2	2	0	0	0	0	2	2
音楽表現(学設)		学設	0	2	2(選)	2	0	4	2(選)	
美術Ⅰ		2	2	0	0	0	0	2	2	
外国語	美術表現(学設)	学設	0	2	(選)	2	0	4	(選)	
	英語コミュニケーションⅠ	3	3	0	0	0	0	3	3	
	英語コミュニケーションⅡ	4	0	2	2	2	2	4	4	
家庭情報	家庭総合	4	2	2	2	0	0	4	4	
	情報Ⅰ	2	0	2	2	2	2	4	4	
学設教	産業社会と人間	学設	3	2	2	2	2	7	7	
各教科・科目 小計			25	25	25	25	25	75	75	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	3	3	
	自立活動		3	3	3	3	3	9	9	
	総合的な探究の時間		1	1	1	1	1	3	3	
合 計			30	30	30	30	30	90	90	
年間総授業時数			1050	1050	1050	1050	1050	3150	3150	
2年生で文系又は理系のどちらかを選択 2年生の理系コース選択科目 「物理基礎」「化学基礎」「地学基礎」から2科目4単位を選択。 「音楽表現」「美術表現」から1科目2単位を選択。 3年生の理系コース選択科目 「物理」「化学」「生物」「地学」から2年生までに基礎を履修した科目から1科目4単位を選択。										

②本科普通科 I 課程 A 令和7年入学者

各教科 科目等	類型標準 科目名 単位数		学 年						合計	
			1 年	2 年		3 年		文系	理系	
				文系	理系	文系	理系			
普通教育に関する各教科・科目	国語	現代の国語	2	3					3	3
		言語文化	2		2	2			2	2
		国語表現	4				4	4	4	4
	地理歴史	地理総合	2				2	2	2	2
		歴史総合	2		2	2			2	2
		日本史探究	3				3	3	3	3
	公民	公共	2	2					2	2
	数学	数学Ⅰ	3	4					4	4
		数学Ⅱ	4			4				4
		数学Ⅲ	2		4	2			4	2
		数学Ⅳ	2					2		2
		数学Ⅴ	2					2		2
		数学基礎セミナー	学設					2		2
	理科	物理基礎	2			4(選)				4(選)
		物理	4					4(選)		4(選)
		化学基礎	2		2	(選)			2	(選)
		化学	4					(選)		(選)
		生物基礎	2			(選)	2		2	(選)
		生物	4					(選)		(選)
	保健体育	地学基礎	2	2					2	2
		地学	4					(選)		(選)
	芸術	体 育	7~8	3	2	2	2	2	7	7
		保 健	2		1	1	1	1	2	2
		音楽Ⅰ	2	2					2	2
	音楽表現	音楽表現	学設		2				2	
		美術Ⅰ	2	2					2	2
		美術表現	学設		2				2	
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3					3	3
		英語コミュニケーションⅡ	4		2	2	2	2	4	4
	家庭	家庭総合	4	2	2	2			4	4
	情報	情報Ⅰ	2		2	2	1	1	3	3
		情報活用	学設	1	1	1	1	1	3	3
	学設教	産業社会と人間	学設	2	2	2	2	2	6	6
各教科・科目 小計			26	26	26	26	26	78	78	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	3	3	
	自立活動		2	2	2	2	2	6	6	
	総合的な探究の時間		1	1	1	1	1	3	3	
合 計			30	30	30	30	30	90	90	
年間総授業時数			1050	1050	1050	1050	1050	3150	3150	

2年生で文系又は理系のどちらかを選択
2年生の理系コース選択科目「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目4単位を選択。
3年生の理系コース選択科目「物理」「化学」「生物」「地学」から2年生までに基礎を履修した科目から1科目4単位を選択。

③本科普通科 I 課程B 令和7年入学者

教科等	科目名	標準単位数	1年	2年	3年	合計
国語	現代国語	2	3			3
	言語文化	2		2		2
	国語表現	4			4	4
	実用国語	学設			2	2
地理歴史	地理総合	2			2	2
	歴史総合	2		2		2
公民	公共	2	2			2
数学	数学Ⅰ	3	4			4
	数学基礎セミナー	学設			2	4
理科	化学基礎	2		2		2
	生物基礎	2			2	2
	地学基礎	2	2			2
保健体育	体 育	7~8	3	2	2	7
	保 健	2		1	1	2
芸術	音楽Ⅰ	2	2			2
	音楽表現	学設		2		2
	美術Ⅰ	2	2			2
	美術表現	学設		2		2
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3	2		5
家庭	家庭総合	4	2	2		4
情報	情報Ⅰ	2		2	2	4
各教科・科目 小計			23	23	23	69
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3
	自立活動		5	5	5	15
	総合的な探究の時間		1	1	1	3
合 計			30	30	30	90
年間総授業時数			1050	1050	1050	3150

④本科普通科 I 課程 A 令和8年入学者

各教科 科目等	科目名 単位数		学年				合計			
	科目名	標準 単位数	1年	2 学年 文系	理系	3 学年 文系	理系	文系	理系	
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科 ・ 科 目	国語	現代の国語	2	3				3	3	
		言語文化	2		3	3		2	2	
		国語表現	4				4	4	4	4
	地理 歴史	地理総合	2				2	2	2	2
		歴史総合	2		2	2		2	2	
	公民	日本史探究	3				3	3	3	3
		公共	2	2					2	2
	数学	数学Ⅰ	3	4					4	4
		数学Ⅱ	4			5				5
		数学A	2		3	2			4	2
		数学B	2					3		2
		数学C	2					3		2
		数学基礎セミナー	学設				2		2	
	理科	物理基礎	2			2				2
		物理	4					4 (選)		4 (選)
		化学基礎	2	2					2	2
		化学	4					(選)		(選)
		生物基礎	2		2	2			2	2
		生物	4						(選)	(選)
	保健 体育	地学基礎	2				2		2	
体育		7~8	2	2	2	3	3	7	7	
芸術	保健	2	1	1	1			2	2	
	音楽Ⅰ	2	2					2	2	
外国語	音楽表現	学設		2		2		4		
	美術Ⅰ	2	2					2	2	
	美術表現	学設		2		2		4		
	英語コミュニケーションⅠ	3	3					3	3	
家庭	英語コミュニケーションⅡ	4		2	2	2	2	4	4	
	家庭総合	4	2	2	2			4	4	
情報	情報Ⅰ	2	2	2	1	1		3	3	
	情報活用	学設	1	1	1	1	1	3	3	
学校設定教科	産業社会と人間	学設	2	2	0	2	0	6	6	
各教科・科目単位数 小計			26	26	26	26	26	78	78	
総合的な探究の時間			1	1	1	1	1	3	3	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	3	3	
自立活動			2	2	2	2	2	6	6	
小計			4	4	4	4	4	12	12	
合計			30	30	30	30	30	90	90	
年間総授業時数			1050	1050	1050	1050	1050	3150	3150	

2年生で文系又は理系のどちらかを選択。
3年生の理系コース選択科目：2年生までに履修した基礎科目と同一名称の科目「物理・化学・生物」から1科目4単位を選択。

⑤本科普通科 I 課程B 令和8年入学者

教科等	科目名	標準 単位数	1年	2年	3年	合計	
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科 ・ 科 目	国語	現代国語	2	3		3	
		言語文化	2		2	2	
		国語表現	4			4	4
		実用国語	学設		2	2	4
	地理 歴史	地理総合	2			3	3
		歴史総合	2		2		2
	公民	公共	2	2			2
	数学	数学Ⅰ	3	4			4
		数学基礎セミナー	学設		2	3	5
	理科	化学基礎	2	2			2
		生物基礎	2		2		2
		地学基礎	2			2	2
	保健 体育	体育	7~8	2	2	3	7
		保健	2	1	1		2
	芸術	音楽Ⅰ	2	2			2
		音楽表現	学設		2	2	4
		美術Ⅰ	2	2			2
		美術表現	学設		2	2	4
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3	2		5
	家庭	家庭総合	4	2	2		4
情報	情報Ⅰ	2		2	2	4	
各教科・科目 小計			23	23	23	69	
総合的な探究の時間			1	1	1	3	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3	
自立活動			5	5	5	15	
小計			7	7	7	21	
合計			30	30	30	90	
年間総授業時数			1050	1050	1050	3150	

⑥本科普通科(Ⅱ課程A)

教科等		1年		2年		3年		備考
		授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	
各学科に共通する各教科	国語	70	2	70	2	70	2	
	社会	70	2	70	2	70	2	
	数学	70	2	70	2	70	2	
	理科	70	2	70	2	70	2	
	音楽	70	2	70	2	70	2	
	美術	70	2	70	2	70	2	
	保健体育	70	2	70	2	70	2	体育理論・保健を含む
	職業	140	4	140	4	140	4	
	家庭	70	2	70	2	70	2	
	外国語	70	2	70	2	70	2	
	情報	35	1	35	1	35	1	
共通教科・科目時数小計		805	23	805	23	805	23	
道徳科		35	1	35	1	35	1	
総合的な探究の時間		35	1	35	1	35	1	
特別活動	ホームルーム活動	35	1	35	1	35	1	
自立活動		140	4	140	4	140	4	
その他小計		245	7	245	7	245	7	
合計		1050	30	1050	30	1050	30	

⑦本科普通科(Ⅱ課程B)

教科等		1年		2年		3年		備考
		授業時数	週時数	授業時数	週時数	授業時数	週時数	
各学科に共通する各教科	国語	70	2	70	2	70	2	
	社会	70	2	70	2	70	2	
	数学	70	2	70	2	70	2	
	理科	70	2	70	2	70	2	
	音楽	105	3	105	3	105	3	
	美術	105	3	105	3	105	3	
	保健体育	105	3	105	3	105	3	体育理論・保健を含む
	職業	70	2	70	2	70	2	
	家庭	70	2	70	2	70	2	
	外国語	35	1	35	1	35	1	
	情報	35	1	35	1	35	1	
共通教科・科目時数小計		805	23	805	23	805	23	
道徳科		35	1	35	1	35	1	
総合的な探究の時間		35	1	35	1	35	1	
特別活動	ホームルーム活動	35	1	35	1	35	1	
自立活動		140	4	140	4	140	4	
その他小計		245	7	245	7	245	7	
合計		1050	30	1050	30	1050	30	

⑧専攻科保健療科

教科	分野	科目		1年	2年	3年	合計	
保健療	基礎分野	科学的思考の基盤、 人間と生活	7	表現方法論	2	0	0	2
				情報活用	0	2	0	2
				生物	0	2	0	2
				社会福祉	1	0	0	1
	小計				3	4	0	7
	専門基礎分野	医療と社会	2	医療と社会	0	0	2	2
				解剖学	7	3	0	10
		人体の構造と機能	16	生理学	4	2	0	6
				衛生・公衆衛生	0	2	0	2
		疾病の成り立ちと 予防	4	病理	0	2	0	2
				臨床医学	0	4	0	4
	生活と疾病	7	リハビリテーション医学	0	0	3	3	
			小計			11	13	5
	専門分野	基礎保健療	8	東洋医学一般	5	0	0	5
				保健療理論	0	0	3	3
		臨床保健療	9	臨床入門	0	3	0	3
				臨床概論	0	0	2	2
		地域保健療と 保健療経営	2	保健療臨床論	0	0	4	4
				地域保健療と 保健療経営	0	0	2	2
保健療基礎実習		19	あん摩実技	6	2	0	8	
			マッサージ実技	3	2	0	5	
			指圧実技	0	2	0	2	
			総合実技	0	4	0	4	
保健療臨床実習	12	保健療臨床実習	0	0	12	12		
課題研究	2	課題研究	0	0	2	2		
小計				14	13	25	52	
合計				28	30	30	88	

※ 総合領域 9 単位 (基礎保健療 2 臨床保健療 2 実習科目 3 課題研究 2)

⑨専攻科理療科

教科	分野	科目		1年	2年	3年	合計	
理療	基礎分野	科学的思考の基盤、 人間と生活	7	表現方法論	2	0	0	2
				情報活用	0	2	0	2
				生物	0	2	0	2
				社会福祉	1	0	0	1
	小計				3	4	0	7
	専門基礎分野	医療と社会	2	医療と社会	0	0	2	2
				解剖学	7	0	0	7
		人体の構造と機能	12	生理学	5	0	0	5
				衛生学・公衆衛生学	0	2	0	2
		疾病の成り立ちと 予防	4	病理学概論	0	2	0	2
				臨床医学総論	0	2	0	2
	生活と疾病	9	臨床医学各論	0	4	0	4	
			リハビリテーション医学	0	3	0	3	
	小計				12	13	2	27
	専門分野	基礎理療学	9	東洋医学概論	3	0	0	3
				経絡経穴概論	3	0	0	3
		臨床理療学	12	理療理論	0	0	3	3
				臨床入門	0	3	0	3
		地域理療と理療経営	2	理療臨床論	0	0	6	6
地域理療と理療経営				0	0	2	2	
理療基礎実習		19	あん摩実技	4	0	0	4	
			マッサージ実技	0	3	0	3	
			指圧実技	0	1	0	1	
			はり実技	4	4	0	8	
	きゅう実技		1	0	0	1		
総合実技	0	2	0	2				
理療臨床実習	12	理療臨床実習	0	0	12	12		
課題研究	2	課題研究	0	0	2	2		
小計				15	13	28	56	
合計				30	30	30	90	

※ 総合領域 9 単位 (基礎理療学 2 実習科目 5 課題研究 2)

2. 日課表

幼稚部

	月	火	水	木	金
9:00	登校 ・・・ 挨拶 靴の履き替え、移動 等				
	朝の活動 ・・・ 荷物の準備、検温、出席シール貼り、排泄、個別活動等 自由遊び、おやつ				
9:30	朝のあつまり・リズム運動 ・・・ 挨拶、呼名、手指遊び、楽器遊び、リトミック、日課の確認等				
	設定遊び ・・・ 運動遊び 音楽遊び 感覚・感触遊び 季節・戸外遊び 校外保育 ・・・ 校外活動 交流及び共同学習等				
	自立活動 ・・・ 健康の保持 心理的な安定 身体の動き 環境の把握 人間関係の形成 コミュニケーション				
11:35	給食 ・・・ 手洗い、準備、食事、片づけ、排泄等 基本的な生活習慣 ・・・ 歯磨き、洗面、着替え、排泄				
	帰りのあつまり ・・・ 帰りの歌、楽しかったこと等の発表、明日の予告、挨拶等				
13:30	下校				

小・中・高学部

校時	小学部（月～金）	中・高等部（月～金）
職員朝会	8:30～ 8:40 8:40～ 8:45 児童登校	生徒登校 朝の自習
朝の学活・学習	8:45～ 8:55	8:40～ 8:45
第1校時	8:55～ 9:40	8:50～ 9:40
第2校時	9:50～10:35	9:50～10:40
第3校時	10:55～11:40	10:50～11:40
第4校時	11:50～12:35	11:50～12:40
給食	12:35～13:25（50分）	12:40～13:25（45分）
第5校時	13:30～14:15	13:30～14:20
第6校時	14:25～15:10	14:30～15:20
帰りの会	15:00～15:10	15:20～15:30
下校	15:15（清掃）	15:30
全体職員朝会：金 学部職員朝会：月・火・水・木 * 必要に応じ変更あり。		

各学部下校時間

	小1年	小2年	小3年	小4・5・6年	中学部	高等部
月曜日	13:30	14:20	14:20	14:20	14:30	15:30
火曜日	14:20	14:20	15:15	15:15	15:30	15:30
水曜日	15:15	15:15	15:15	15:15	15:30	15:30
木曜日	14:20	14:20	14:20	15:15	15:30	15:30
金曜日	14:20	14:20	15:15	15:15	15:30	15:30

4. 使用教科書一覧

【小学部】

国語	光村図書出版株式会社「国語 一上～六」
社会	教育出版株式会社「小学社会 3～6」
算数	大日本図書株式会社「たのしい算数1年～6年」
理科	東京書籍株式会社「新しい理科3～6」
生活	教育出版「なかよしひろがれ 上下」
外国語	開隆堂出版株式会社「Junior Sunshine 5・6」
道徳	教育出版株式会社「小学道徳1～6 はばたこう明日へ」
音楽	株式会社 教育芸術社「小学生の音楽1～6」
図工	日本文教出版株式会社「図画工作 1・2上～5・6下」
家庭	開隆堂出版株式会社「わたしたちの家庭科5・6」
保健	学研「新みんなのほけん3・4年5・6年」

【中学部】

国語	光村図書出版株式会社
社会 地理	教育出版株式会社
社会 歴史	教育出版株式会社
社会 地図	東京書籍株式会社
数学	数研出版株式会社
理科	東京書籍株式会社
音楽	教育出版株式会社
美術	日本文教出版株式会社
保体	株式会社 Gakken
技術	開隆堂出版株式会社
家庭	開隆堂出版株式会社
英語	教育出版株式会社
道徳	教育出版株式会社

【高等部普通科】

現代の国語	東京書籍株式会社「精選現代の国語」
言語文化	東京書籍株式会社「新編言語文化」
国語表現	大修館書店「国語表現」
地理総合	東京書籍株式会社「地理総合」
歴史総合	山川出版社「歴史総合 近代から現代へ」
公共	帝国書院「高等学校 公共」
数学Ⅰ	数研出版株式会社「新編 数学Ⅰ」
数学Ⅱ	数研出版株式会社「NEXT 数学Ⅱ」
数学A	数研出版株式会社「新編 数学A」
数学B	数研出版株式会社「NEXT 数学B」
化学基礎	実教出版株式会社「化学基礎」
保健体育	株式会社大修館書店「現代高等保健体育」
音楽Ⅰ	株式会社教育芸術社「高校生の音楽Ⅰ」

英語コミュニケーションⅠ 開隆堂出版株式会社「Revised Amity English CommunicationⅠ」
 英語コミュニケーションⅡ 開隆堂出版株式会社「Revised Amity English CommunicationⅡ」
 家庭総合 第一学習社「高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる」
 情報Ⅰ 実教出版株式会社「最新情報Ⅰ」

【高等部専攻科】

基礎理療学Ⅰ 東洋医学一般	盲学校理療科用図書編纂委員会編
保健理療基礎実習	日本理療科教員連盟教科書委員会編
保健理療臨床実習	日本理療科教員連盟教科書委員会編
基礎保健理療Ⅱ 保健理療理論	日本理療科教員連盟教科書委員会編
理療基礎実習	日本理療科教員連盟教科書委員会編
新版 経絡経穴概論	医道の日本社
理療臨床実習	盲学校理療科用図書編纂委員会編
生活と疾病Ⅲ 臨床医学各論	日本理療科教員連盟教科書委員会編
人体の構造と機能 解剖・生理	日本理療科教員連盟教科書委員会編
コミュニケーション概論 医療面接を目指して	東京都立文京盲学校理療科研究会
生活と疾病Ⅱ 臨床医学	日本理療科教員連盟教科書委員会編
手技療法の基礎と臨床	岡山盲学校理療研究会編
臨床保健理療 あま師洋東洋医学臨床論	日本理療科教員連盟教科書委員会編
基礎理療学Ⅰ 東洋医学概論	日本理療科教員連盟教科書委員会編
疾病の成り立ちと予防Ⅱ 病理学概論	日本理療科教員連盟教科書委員会編
地域理療と理療経営	盲学校理療科用図書編纂委員会編
基礎理療学Ⅲ 新版理療理論	盲学校理療科用図書編纂委員会編
臨床理療学 あはき師用東洋医学臨床論	日本理療科教員連盟教科書委員会編
理療臨床のための心理学	千葉理療臨床研究会
人体の構造と機能 解剖学	医歯薬出版
人体の構造と機能 生理学	医歯薬出版
灸療技Ⅰ 灸による治療法	深谷鍼灸継承会
生活と疾病Ⅱ 臨床医学総論	日本理療科教員連盟教科書委員会編
新・徒手筋力検査法	協同医書
触察解剖図Ⅰ～Ⅲ	触察臨床図研究会
疾病と成り立ちと予防Ⅰ 衛生学・公衆衛生学	日本理療科教員連盟教科書委員会編
治療科の手の作り方 反応論・触察学試論	六然社
点訳のてびき	全国視覚障害者情報提供施設協会
生活と疾病ⅠA リハビリテーション医学概論編 追補版	日本理療科教員連盟教科書委員会編
生活と疾病ⅠB リハビリテーション医学基礎運動学編	日本理療科教員連盟教科書委員会編
ベッツサイドシリーズ 神経の診かた	南山堂
医療と社会	医道の日本社

IV 学校運営

I 学級編成表

各学部学級数:幼稚部(1) 小学部(4) 中学部(4) 高等部普通科(4) 高等部専攻科(6)

各学部職員数:幼稚部(2名) 小学部(8名) 中学部(8名) 高等部(普10名+専10名+実習助手4名)

学部		学級名	男	女	計	
幼稚部		1組	2	0	2	
		小計 (1)	2	0	2	
小学部		3年1組	0	1	1	
		3年2組(重複複式①)	1	1	2	
		4年1組	2	0	2	
		6年1組	0	1	1	
		6年2組(重複複式①)	1	0	1	
		小計 (4)	4	3	7	
中学部		1年1組(重複複式①)	1	0	1	
		2年1組	2	0	2	
		2年2組(重複複式①)	1	0	1	
		3年1組	1	2	3	
		3年2組(重複)	2	0	2	
		小計(4)	7	2	9	
高等部	本科	普通科	1年1組	0	1	1
			1年2組(重複複式①)	1	1	2
			2年1組	1	0	1
			3年1組	2	0	2
			3年2組(重複複式①)	0	1	1
			小計 (4)	4	3	7
	専攻科	保健科	1年	2	1	3
			2年	1	0	1
			3年	1	0	1
			小計 (3)	4	1	5
		理療科	1年	5	0	5
			2年	1	0	1
			3年	2	0	2
			小計 (3)	8	0	8
合計 (19)			29	9	38	

2 視力別幼児児童生徒数

		在籍	0	光覚	手動	指数	0.01	0.02 ~0.03	0.04 ~0.09	0.1 ~0.3	0.3 以上	測定 困難	墨字 使用	
幼稚部		2										2		
小学部	1年	0												
	2年	0												
	3年	3		1								2		
	4年	2	2											
	5年	0												
	6年	2	2											
中学部	1年	1			1									
	2年	3	1					1			1		2	
	3年	5	1					1	1		1	1	2	
高等部	普通科	1年	3	1					1	1			1	
		2年	1	1										
		3年	3	1			1				1		2	
	保健科	1年	3			1			1			1		2
		2年	1									1		1
		3年	1						1					1
	理療科	1年	5		1					2		1		3
		2年	1									1		1
		3年	2								1	1		2
合計		38	9	2	2	1	0	2	6	3	7	5	17	

3 眼科疾患状況（総保有眼疾病）

		幼稚部	小学部	中学部	普通科	保理科	理療科	計	%
疾病障害名 在籍		2	7	9	7	5	8	38	
眼 球	緑内障(術後含)		2	1		1	2	6	15.8
	無眼球			1	1		2	4	10.5
	小眼球症		1					1	2.6
虹 彩 ・ 角 膜	角膜混濁		1					1	2.6
	両強膜化角膜		1					1	2.6
	両虹彩コロボーマ		1					1	2.6
	前眼部形成異常		1					1	2.6
硝 子 ・ 体	白内障（術後含）			1		1	2	4	10.5
	家族性滲出性硝子体網膜症		2			1		3	7.9
網 膜 ・ 脈 絡 膜	未熟児網膜症		1	2				3	7.9
	網膜剥離（術後含）					1		1	2.6
	網膜色素変性症			1		2	2	5	13.2
	網膜変性	1		1				2	5.3
	両視神経網脈絡膜コロボーマ		1					1	2.6
	網膜芽細胞腫		1					1	2.6
	黄斑ジストロフィー					1	2	3	7.9
脳 ・ 神 経	視神経萎縮	2			1			3	7.9
	視神経低形成			1		1		2	5.3
	視神経脊髄炎				1			1	2.6
	術後視覚障害				1			1	2.6
	外傷性視神経症				1			1	2.6
	頭蓋咽頭種による視覚障害			1			1	2	5.3
そ の 他	13qトリソミー		1					1	2.6
	原田病			1				1	2.6
	スティーブンス・ジョンソン症候群				1			1	2.6
	屈折異常（強度近視）	1						1	2.6
	眼振			1				1	2.6
	内・外斜視	1			1			2	5.3
	弱視				1			1	2.6
近視性・遠視性乱視	1						1	2.6	

4 幼児児童生徒の学部別・年齢別・性別分布表

R8. 4月現在

学部	幼稚部	小学部	中学部	高等部普通科	高等部専攻科	合計
男	2	4	7	4	12	29
女	0	3	2	3	1	9
合計	1	7	9	7	13	38

学部	幼 稚 部				小 学 部							中 学 部			
	3	4	5	計	6	7	8	9	10	11	計	12	13	14	計
男	0	0	2	2	0	0	1	2	0	1	4	1	3	3	7
女	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3	0	0	2	2
合計	0	0	2	2	0	0	3	2	0	2	7	1	3	5	9

学部	高 等 部 普 通 科													
年齢	15	16	17	18~20	21~25	26~30	31~35	36~40	41~45	46~50	51~55	56~60	61以上	計
男	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
女	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	3	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7

学部	高 等 部 専 攻 科										
年齢	18~20	21~25	26~30	31~35	36~40	41~45	46~50	51~55	56~60	61以上	計
男	3	2	1	0	0	0	1	2	1	2	12
女	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	3	2	1	1	0	0	1	2	1	2	13

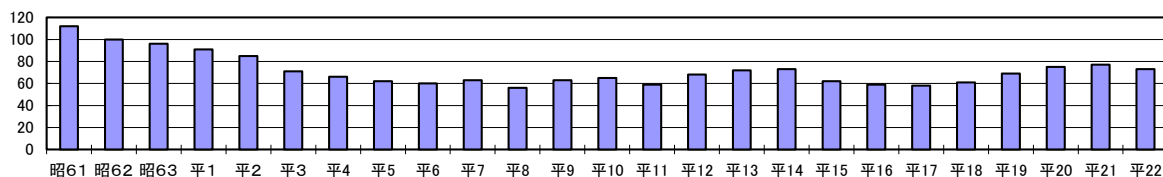
5 出身市町村別幼児児童生徒数

		北谷町	うるま市	北中城村	宜野湾市	沖縄市	浦添市	那覇市	豊見城市	西原町	南風原町	糸満市	八重瀬町	南城市	恩納村	金武町	与那原町	宜野座村	名護市	各合計			
学部	学年等	性別																		男女合計	全合計		
幼稚園部	3歳	男																			0	0	
		女																				0	0
	4歳	男																				0	0
		女																				0	0
	5歳	男						1				1										2	2
		女																				0	0
小計			0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
小学部	1学年	男																			0	0	
		女																			0	0	
	2学年	男																			0	0	
		女																			0	0	
	3学年	男													1						1	3	
		女								1						1					2	2	
	4学年	男											1	1							2	2	
		女																			0	0	
	5学年	男																			0	0	
		女																			0	0	
	6学年	男											1								1	2	
		女																1			1	1	
小計			0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	1	1	0	1	0	0	7	7		
中学部	1学年	男																1		1	1		
		女																		0	0		
	2学年	男					1					1	1							3	3		
		女																		0	0		
	3学年	男								2		1								3	5		
		女							1	1										2	2		
小計			0	0	0	0	1	0	1	3	0	2	1	0	0	0	0	1	0	9	9		
高等部（普通科）	1学年	男							1						1					2	3		
		女																		1	1		
	2学年	男		1																1	1		
		女																		0	0		
	3学年	男			1		1													2	3		
		女							1											1	1		
小計			0	1	1	0	1	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	7	7			
高等部（専攻科）	1学年	男		1			2	1	1			1	1							7	8		
		女																	1	1	1		
	2学年	男						1	1											2	2		
		女																		0	0		
	3学年	男							1			2								3	3		
		女																		0	0		
小計			0	1	0	0	2	2	3	0	0	2	1	1	0	0	0	0	13	13			
合計			0	2	1	0	4	3	6	4	0	6	4	2	2	1	0	2	0	38	38		

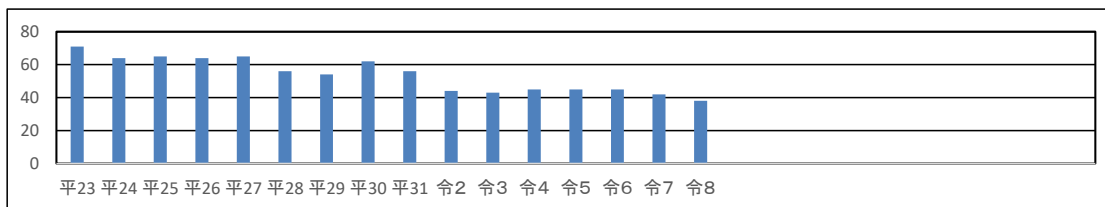
6 幼児児童生徒数推移

R8. 5月現在

年度	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22
在籍数	112	100	96	91	85	71	66	62	60	63	56	63	65	59	68	72	73	62	59	58	61	69	75	77	73



年度	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	平31	令2	令3	令4	令5	令6	令7	令8
在籍数	71	64	65	64	65	56	54	62	56	44	43	45	45	45	42	38



7 進路状況

(1) 普通科卒業生 (H25~)

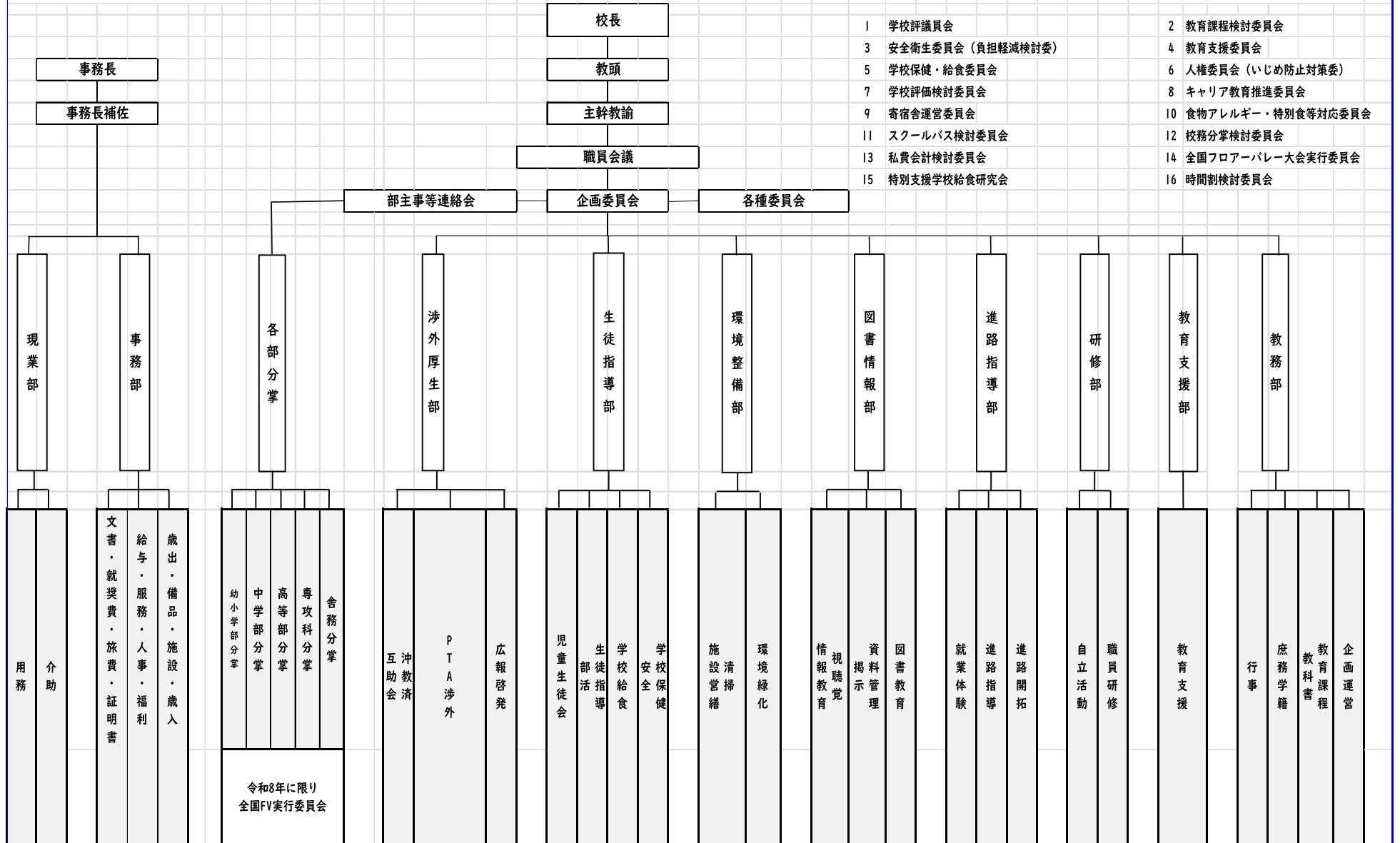
事項	卒業年度	平成							令和							計										
		25	26	27	28	29	30	31	2	3	4	5	6	7												
就職	製造業																								0	
	サービス業																									0
	販売業	1								1																2
	その他																1									1
進学	大学	1														1								1	3	
	専攻科	1	2					1					1			3	2							2	12	
	その他	1																						1	2	
施設・作業所	1	2	3	3				6	4	3	1	1	1	4	2	3									33	
自宅				1						1	1														3	
その他			1																						1	
計		5	5	4	3	1	7	5	5	5	1	6	6	2	7	57										

(2) 専攻科卒業生 (H25~)

事項	卒業年度	平成							令和							計									
		25	26	27	28	29	30	31	2	3	4	5	6	7											
就職	病院																								0
	治療院			2							1	1													4
	ヘルスキーパー	2		1		3	4	3	2							1									16
	訪問マッサージ	2				1		2	1														1		7
	老健施設		2																1						3
	就職準備中	2			5	3	1	1		3		3		3	1	3									22
	その他																1							3	4
進学		1	1	1							1		1		1									6	
その他		1	5											1										7	
計		6	4	9	6	7	5	6	5	4	2	4	4	4	7	63									

7 令和8年度学校運営組織図

沖縄県立沖縄盲学校 R8.4.1



8 スクールバス運行

令和8年度登下校時スクールバス時刻表

- 1 時刻表は「バスの出発予定時刻」です。
- 2 出発予定時刻5分前までにバス停に待機してください。
- 3 出発予定時刻を過ぎるとバスは出発します。
- 4 道路の状況・混雑等によりバスの到着が遅れる場合があります。

🚌南部コース🚌 携帯：090-6859-5901

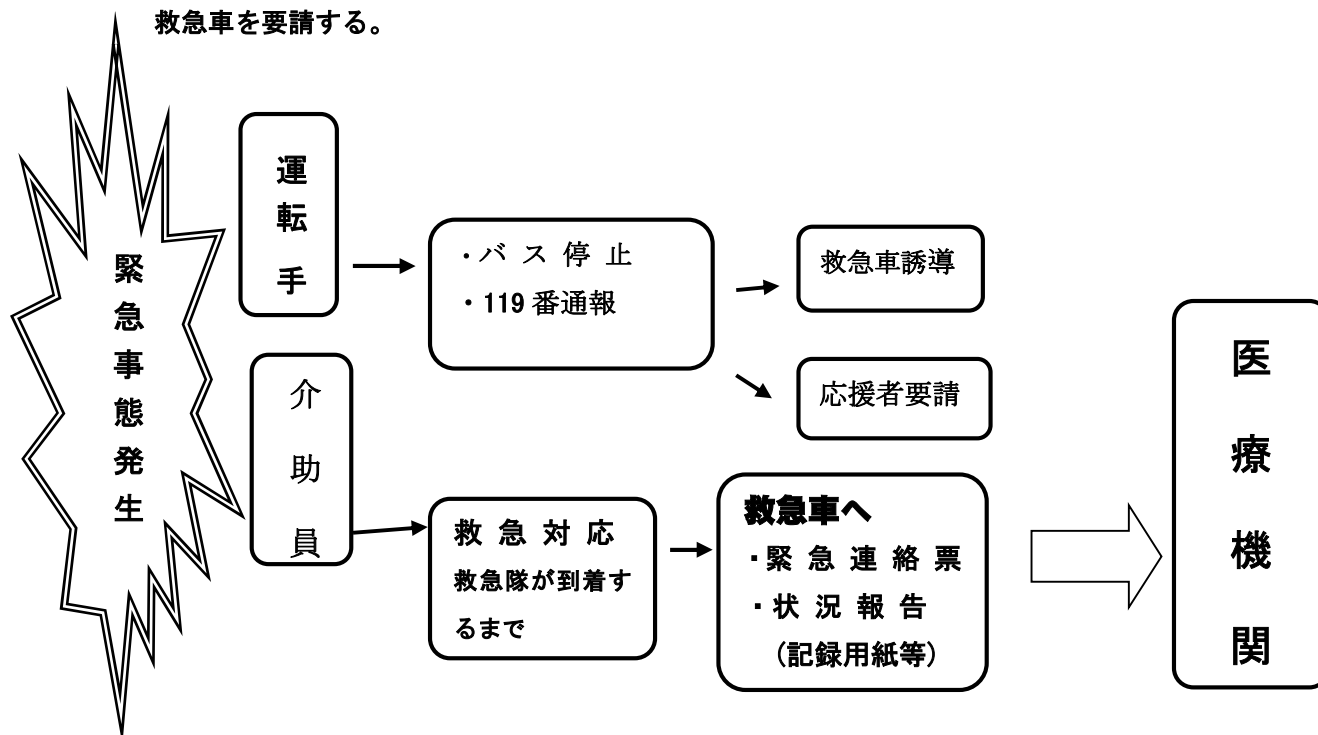
登校（迎え）		下校 15：30（送り）		行事等で13：30下校（給食あり）	
学校発	06：05	学校発	15：30	学校発	13：30
浦城小学校前	06：35	浦城小学校前	16：00	浦城小学校前	14：00
牧志駅	06：50	牧志駅	16：15	牧志駅	14：15
与義公園前	07：00	与義小学校前	16：25	与義小学校前	14：25
与儀小学校前	07：05	嘉数入口	16：35	嘉数入口	14：35
嘉数入口	07：20	豊見城市役所前	16：45	豊見城市役所前	14：45
豊見城市役所前	07：30	豊見城南高校前	16：55	豊見城南高校前	14：55
豊見城南高校前	07：45	阿波根	16：58	阿波根	14：58
阿波根	07：48	西崎入口	17：00	西崎入口	15：00
西崎入口	07：52	学校	17：20	学校	15：20
新島	08：00				
伊覇公民館	08：15				
学校	08：40				

🚌中部コース🚌 携帯：090-8294-7499

登校（迎え）		15：30下校		行事等で13：30下校（給食あり）	
学校発	06：05	学校発	15：30	学校発	13：30
高原南	07：00	兼城バス停	15：35	兼城バス停	13：35
いなり寿し家	07：05	当間原（南風原町）	15：38	当間原（南風原町）	13：38
プラザハウス	07：20	屋宜原	16：15	屋宜原	14：15
与那覇	08：25	プラザハウス	16：19	プラザハウス	14：19
当間原（南風原町）	08：27	いなり寿し家	16：25	いなり寿し家	14：25
兼城バス停	08：30	高原南	16：35	高原南	14：35
学校	08：40	学校	17：25	学校	15：20

スクールバス送迎中の緊急体制

※ 送迎中、緊急に医療機関で診療を要する事態が発生した場合は、バスの運行を停止し救急車を要請する。



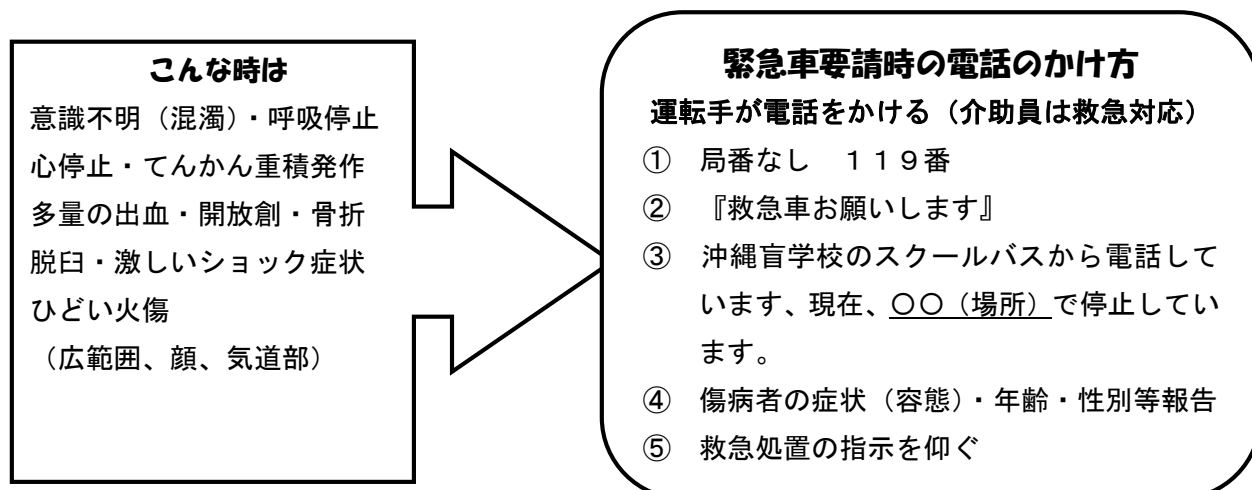
◀ 介助員は必要に応じて救急車に同乗する ▶

救急隊員へ『緊急連絡表』と『状況の記録』を渡し、書面でもって緊急担当医へ状況報告する。

【緊急搬送後】運転手が

- ① 学校に電話連絡する。
- ② 校長（教頭）に所属の学部・学年・氏名、状況、救急搬送先等を連絡して、指示を仰ぐ。
- ③ 介助員が救急車に同乗の場合、スクールバスへ職員の派遣を依頼する。
- ④ 学校から保護者・関係職員へ連絡し、状況に応じて職員を医療機関とバスへ派遣する。
- ⑤ 運転手は派遣された職員が到着後、安全を確認し運行を開始する。

※介助員が救急車に同乗する場合、スクールバス用携帯電話はバスに残す。

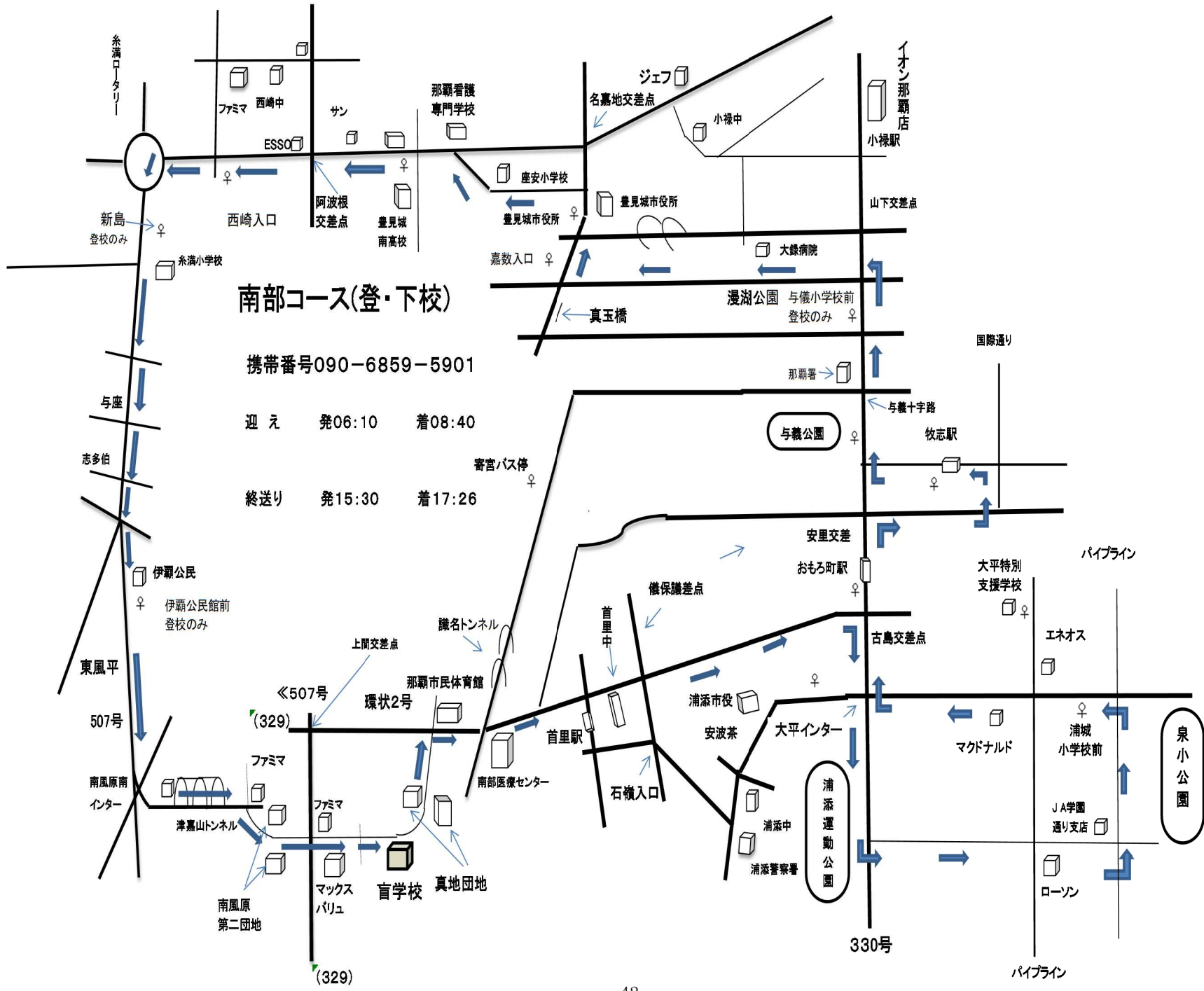


令和8年度

スクールバス利用数

令和8年4月現在

	南部コース	中部コース	合計数
小学部	5	2	7人
中学部	4	3	7人
高等部 (専攻科)	6	6	12人
合計数	15人	11人	26人



南部コース(登・下校)

携帯番号090-6859-5901

迎え 発06:10 着08:40

終送り 発15:30 着17:26

寄宮バス停

点字一覽表

◆五 十 音										
◆アルファベット										
◆数 字										



沖縄県立沖縄盲学校

所在地 〒901-1111 南風原町字兼城473番地

TEL 098-889-5375

FAX 098-888-2547

案内図

